

平成 28 年度事業計画

○新 5 ヶ年行動計画 2016-2020 と北海道リハビリテーション専門職協会

平成 17 年度からの長期 10 ヶ年計画を終え、この平成 28 年度からは新 5 ヶ年行動計画 2016-2020 を立案した。従来からの目標であった「人を育て遺してゆく」、「作業療法士不在地域ゼロ作戦」に変わりはないが、平成 28 年 3 月 1 日には従来の北海道リハビリテーション 3 団体連絡協議会を母体として、当士会が会員となっている一般社団法人北海道リハビリテーション専門職協会が設立されたことから、北海道の地域医療介護総合確保基金の運用も含めて当士会との役割分担を行ってゆく。

新 5 ヶ年行動計画では、従来 の 4 本柱であった、組織強化、質の向上、職域拡大、社会貢献を、日本作業療法士協会の 5 ヶ年行動計画である、①質の向上と職域の明確化、②作業療法士技術の向上、③作業療法の有効活用の促進、④作業療法の普及と振興、⑤内外関係団体との提携交流、⑥事故や災害、⑦法人の管理や運営の 7 大項目に改めた。

協会の定型活動 86 項目のうち、道士会に重要と思われる 66 項目を選定し、A：優先順位が高い、B：ふつう、C：既に取り掛かっている、又は 5 ヶ年計画後半でよい、の 3 つに分類し担当部署を明らかにした。組織強化や社会貢献は基本的な項目ととらえ、すべてに内包しているので留意願いたい。

○平成 28 年度の重点課題

平成 28 年度の重点課題として、以下のことを掲げてゆきたい。

1. 会員データベース管理システムへの完全移行

執行部の責任も大きいとは思いますが、会員の協力なしには職能団体の存続にかかわるので、協力を得られていない 3 割の会員を含め、新規有資格者の入会を促進する。

2. 制度対策委員会の立ち上げと委員会の部への移行

地域包括ケアシステムの確立や就労支援など、刻々と変化している制度対策、特に、5 ヶ年行動計画の、③作業療法の有効活用の促進を分掌する予定にある。併せて業務が雑多となっている地域部、事業部、支部などとの分掌分担を再整理してゆく。

3. 認知症対策委員会による事業推進。

言うに及ばない喫緊の課題であり、身障領域、精神領域、高齢領域、地域、教育、行政、関連団体などと連携して事業計画および推進してゆく。

4. 協会のパイロット事業の有効活用を含めた地域作業療法の推進

パイロット事業である「地域住民とともに地域支援事業を行う『推進リーダー』の育成と組織化を図る」事業を今金町や旭川市で行うが、旭川市では市の事業として認定されたことから、さらに発展させたモデル事業としても展開してゆく。

作業療法士不在の遠隔地域に就労した新規卒業者もモデル事業として支援してゆく。

【事務局】

[総務部]

1. 会議運営

- ・平成 28 年度定期総会の開催、常任理事会・定例理事会・臨時理事会・三役会・支部部局連絡会議の開催

2. 会員基本データの保守・管理

3. 定期刊行物の発送及び保管

4. 公文書接受・発行

5. 各種規程の見直し及び新規規程策定

[財務部]

1. 平成 28 年度予算執行の管理
2. 平成 28 年度中間決算・補正予算の検討
3. 平成 28 年度収支決算書の作成
4. 平成 29 年度予算案の作成
5. 財務会計マニュアルの見直し

【調査部】

1. 部局会議の開催（2回/年、その他メールにて実施）
2. ホームページの大幅な改修（視認性、操作性、デザイン性を含めた改修）
 - ・ 道士会主催講習会/研修会ページにおける申し込み予約システムの刷新（会員カードによる決済含）
 - ・ 各デバイス画面に合わせた適切な表示システムの導入
 - ・ 士会活動の実績等に関する新規ページ作成
3. その他
 - ・ 会員からの要望等が集約出来るようなホームページ活用の検討
 - ・ 必要に応じてコンテンツの修正・追加、運用上の課題について調整

【渉外部】

1. 行政、他団体関連事業への協力・提言
2. 儀礼・新年交礼会出席
3. 北海道リハビリテーション専門職協会への参画
4. 日本作業療法士協会・都道府県作業療法士連絡協議会との連携
5. 他団体等への委員・講師派遣・後援協力
6. 平成 29 年新年交礼会の企画・運営
7. 公共事業関連の情報収集等
8. 北海道内の養成校において卒業生を対象とした日本作業療法士協会および北海道作業療法士会に関する説明会の実施

【学術部】

[編集委員会]

1. 平成 28 年度 機関紙「北海道作業療法」の企画・編集・発行（年 4 回）
2. 投稿論文促進の取組みの継続
3. 投稿規定の内容検討

[学術課]

1. 学術研究助成金について
 - ・ 平成 27 年度学術研究助成金報告書の公開（編集委員会と協業）

- ・ 平成 28 年度学術研究助成金の助成
 - ・ 平成 29 年度学術研究助成金の募集・選考審査
 - ・ 学術研究助成金の指定課題の検討
2. 学術的基盤強化に向けた方法論の検討と運用
 - ・ 倫理的配慮の基準を作成

【教育部】

1. 28 年度講習会開催予定
重点課題研修 5 回
認知症、精神科退院支援、福祉用具（車いす）、特別支援教育、高次脳機能
2. 北海道作業療法士会主催講習会 13 回
札幌 3 回
道南、日胆、十勝、根釧、石狩、後志、空知、道北 各 1 回
網走 2 回
3. 日本作業療法士協会現職者共通 道央 札幌 8 テーマ 10 月開催予定
事例発表 2 月開催予定
4. 日本作業療法士協会現職者選択 身障、精神、高齢者
5. 養成教育・実習の位置づけの検討
6. 北海道作業療法士会重点課題 テーマ検討
7. 北海道作業療法士会認定施設更新作業

【福利部】

1. 新会員歓迎会の開催
2. 団体保険管理・運営、各種必要保険の調査
3. 施設情報の管理
4. 倫理委員会の会員への周知と運用
5. 第 47 回北海道作業療法学会での託児運営実施
6. 福利相談
7. 福利イベントの推進
8. 女性会員の士会活動への参画支援の検討

【広報部】

[広報部広報課]

1. 道士会ニュース（奇数月）年 6 回の編集発行、web データの提供
2. 道士会事業のデータ保存、資料提供等の協力（刊行物、写真、広報用）
3. 会員向け情報提供の充実のための web 広報活用の検討、推進
4. 支部広報部との連携、情報共有と方法整備
5. ガイドラインの作成、更新（広報課マニュアル、ニュース編集要点等）

6. 養成校卒業生向け、道士会広報物作成

[広報部企画課]

1. リーフレットの補完
2. ノベルティの作成
3. イベント備品の刷新 (OT 紹介パネルのターポリン化)
4. Uturu の作成 (1 回)
5. SNS による一般向け広報の検討

【事業部】

一般市民に向けた公益的活動、OT 志望者を増大するための啓発活動、MTDLP 研修修了者増大に向けた取り組み、啓発事業ガイドラインを元に支部連携強化などを計画及び事業推進を図る。

1. 公益的活動:

- ・ 道が主催する「次世代の担い手育成推進事業」における「福祉教育アドバイザー」登録及び派遣協力
- ・ いきいき福祉・健康フェア 2016 参画
- ・ 北海道医療技術者団体連絡協議会主催のパネル展参加
- ・ 町内会などを対象に実施している出張講座の支部実施の推進

2. 啓発活動

- ・ 新会員に対して各部と共同して新人会員ガイダンス(4/23)を実施
- ・ OT 見学可能施設一覧を道内高校に配布
- ・ 広報部と連動して「uturu」を道内高校に配布
- ・ 札幌市 小学生職業体験イベント「ミニさっぽろ」への参画

3. MTDLP 修了者増大に向けた取り組み:

- ・ MTDLP 基礎及び実践者研修会の実施、支部開催に向けたシステム作成
- ・ MTDLP 研修会参加推進に向けた道士会員への啓発

4. 支部連携強化

- ・ 連携強化及び課題共有に向けて支部事業部長と士会事業部間会議の開催(年 2 回)

【保険部】

1. 医療・介護保険に関する情報収集・整理

- ・ 各関係各所等から情報収集

2. 士会員への情報提供

- ・ 保険部メーリングリスト、士会ニュース・士会ホームページ上へ情報提供：適宜掲載

3. 士会員からの保険相談、その他

- ・ ホームページや事務局によせられた相談への対応
- ・ パブリックコメントの意見提出

4. 診療報酬改定におけるアンケートの実施

H29.1 頃にアンケート送付、同年 3 月に研修会や HP で報告

5. 保険関連の研修会・座談会の開催

- ・ 同時報酬改定に向けた研修会・座談会を実施予定(2 月下旬～3 月上旬)

【地域部】

引き続き、各市町村の窓口担当に資する作業療法士を育成し、市町村が実施する地域ケア会議や地域支援事業への参画を進め、地域作業療法を推進してゆく。

[事業推進課]

1. 市町村担当者および地区長の把握
2. 市町村事業および地域ケア会議への参画推進および動向調査
3. 地域作業療法推進に関する企画書および報告書の管理
4. 地域作業療法推進に関する事業推進および調査

[企画運営課]

5. 市町村担当者会議の実施
 6. 道士会認定市町村アドバイザー養成講座の実施（基礎課程・認定過程、事例報告）
 7. 地域作業療法推進に関する事業企画および運営
- * 上記は北海道リハビリテーション専門職協会事業と連携し実施する。

【常設委員会】

[総会議事運営委員会]

1. 平成 28 年度定期総会開催準備及び運営
2. 委任状回収率の分析と平成 29 年度総会に向けての検討・準備

[学会評議委員会]

1. 平成 28 年度 第 47 回学会の支援
2. 平成 29 年度 第 48 回学会の支援
3. 平成 30 年度 第 49 回学会の学会長候補の選出
4. 「学会運営手引き（マニュアル）」の継続的な見直し
5. 演題査読委員の委嘱
6. 平成 28 年度 第 47 回札幌学会の参加者の動向調査（学会実行員会）
7. 北海道作業療法学会法人化についての検討

[選挙管理委員会]

1. 平成 29 年度役員選挙の開催準備

[企画調整委員会]

1. 住宅改修ワーキンググループの運営
2. 特別支援教育ワーキンググループの運営
3. 福祉用具相談支援システムの検討
4. I T機器活用方法についての検討
5. 理事会で決議された議案への対応

[規約検討委員会]

1. 既存の規約・規程の修正・改訂
2. 新規規約・規程の作成
3. 規約・規定集の作成の準備

【特設委員会】

[災害対策委員会]

1. 災害対策基金への積み立て
2. 災害対策マニュアルの完成および周知
3. DO-RAT：北海道災害リハビリテーション推進協議会への参加
 - ・ 会議への参加及び講習会の開催

[認知症施策推進委員会]

1. 重要研修項目として教育部と連携し年2回の研修会を実施する。
2. 地域部、支部連と連携し北海道内の認知症関連施設等調査、および道士会員の関与状況調査。
3. 作業療法士協会、北海道、各大学等教育機関、地域推進施設等と連携し、認知症施策推進に関する情報を啓発する。

[白書委員会]

なし

【支部連絡協議会】

1. 支部連絡協議会の開催：2回
2. 各支部の年度活動計画・報告，年度予算計上・決算報告及び活動状況の集約と調整
3. 理事会と各支部の連絡調整
4. 各部局・委員会と支部間の連絡調整
5. 地域長・地区長・市町村担当者の把握、理事会との連絡調整
6. 各部局が立案した事業の把握および連携
7. 地域作業療法推進事業
 - 地域長連携会議の開催、 OJT 講習会の開催
8. 生活行為向上マネジメント講習会の協力開催
9. 各支部と地域活動を推進するための情報共有

[札幌支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部内会議、ブロック連絡会の開催
3. 広報誌の発行
4. 道士会主催支部企画講習会、現職者共通研修会の運営
5. 道庁パネル展・作業療法啓発活動・いきいき福祉健康フェア・ミニさっぽろ・その他イベント活動への参加
6. 出張講座への講師派遣 8 回
7. 地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への会員派遣
8. 地域作業療法推進事業
 - ・ 地域包括支援センターへの挨拶や意見交換会、支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握

[石狩支部]

1. 会員情報の集約（メーリングリスト化）、支部財務管理
2. 支部役員会・懇親会（新人歓迎会）の同日開催（春・冬）、支部 3 役会議（秋）支部内各部会議の開催
3. 広報誌の発行 3 回
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営 1 回、現職者共通研修の運営協力
5. 千歳健康祭りへの参加、北広島元気フェスティバル参加、地域包括との意見交換会、圏域意見交換会の実施
6. 石狩地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への会員派遣
7. 地域作業療法推進事業
 - ・ 地域包括支援センター、市町村担当との連携（石狩支部ニュースの送付）、地域ケア会議への参加（新篠津村）、地域包括ケア会議専門部会参加（恵庭市）、市町村の実態把握、市町村の新総合事業に向けての協力、組織化

[空知支部]

1. 会員情報の集約（メーリングリストの作成管理）、支部財務管理
2. 支部報告会、支部内会議の開催
3. 広報誌の発行 2 回、役員用掲示板の管理、支部交流会の開催
 - 三士会空知支部交流会の開催
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営 1 回、現職者共通研修の運営協力
5. 外部関係機関への会員派遣
6. 砂川市立病院祭への参加、啓発活動の企画
7. 地域作業療法推進事業
 - ・ 地域包括支援センターへの挨拶や意見交換会、支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握各市町村との連携、各市町村地域ケア会議参加

[後志支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部報告会、支部内会議の開催
3. 広報誌の発行 3 回、新人歓迎会・懇親会の開催

4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営 1 回、現職者共通研修会の運営協力

5. いきいき健康祭り、地域イベント活動への参加

6. 後志地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣

7. 地域作業療法推進事業

- ・ 地域包括支援センターへの挨拶や意見交換会、支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握

[道南支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理

2. 支部役員会 3 回、支部内各部会議の開催

3. 広報誌の発行 3 回、新人歓迎会・懇親会の開催

4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営 1 回、現職者共通研修会の運営 3 回

5. OT の日啓発事業の企画運営

6. 各病院・施設における地域支援事業の把握、会員間における医療・介護・保健・福祉ネットワークづくり

7. 南渡島地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣、各団体後援協力

8. 地域作業療法推進事業

- ・ 地域包括支援センターへの挨拶や意見交換会、支部内での市町村担当者会議、地区長会議、市町村の実態把握、地域ケア会議参加（鹿部町）、知内町介護予防事業への作業療法士派遣

[道北支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理

2. 支部報告会・意見交換会、支部内会議の開催

3. 広報誌の発行 6 回、新人歓迎会・懇親会の開催

4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営、現職者共通研修会の運営協力

5. 旭川市健康まつりの企画運営、OT の日啓発活動の企画運営、他地域イベント活動への参加

6. OJT 講習会・MTDLP 講習会運営援助

7. 地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣

8. 地域作業療法推進事業

- ・ 地域包括支援センターへの挨拶や意見交換会、支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握

[十勝支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理

2. 支部総会、支部内会議の開催

3. 広報誌の発行、新人歓迎会の開催

4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営、現職者共通研修の運営協力

5. 福祉フェスティバルへの参加、講師派遣事業の実施

6. 地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣

7. 地域作業療法推進事業（帯広市との一次予防事業「いきいき温泉事業」への派遣は 2 月時点では予定の段階）

[日胆支部] * 苫小牧・室蘭地区制の廃止に伴い業務統合

1. 会員情報の集約、支部財務管理
 2. 支部総会、地区報告会、支部内会議の開催
 3. 広報誌の発行、新人歓迎会・懇親会の開催
 4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営1回、現職者共通研修会の運営協力
 5. ひだか健康まつりへの参加、イオン苫小牧での啓発活動の企画、リレーフォーライフ事業の参加、子育て応援 EXPO への参加
 6. 東・西胆振地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣
 7. 地域作業療法推進事業
 - ・ 地域包括支援センターへの挨拶や意見交換会、支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握
- [根釧支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部総会、支部内会議
3. 広報誌の発行、新人歓迎会・交流会の開催
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営1回、現職者共通研修会の運営協力
5. 市民向け自助具講習会の開催（釧路高専と共催）
6. くしろ健康まつり、厚岸町障がい者（児）ふれあいフェスティバル、他地域イベント活動への参加
7. 外部関係機関への派遣
8. 地域作業療法推進事業
 - ・ 地域包括支援センターへの挨拶や意見交換会、支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握、地域ケア会議参加、市町村予防事業への指導・協力

[網走支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部意見交換会、支部内会議の開催
3. 広報誌の発行3回、新人歓迎会・懇親会の開催
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営2回、現職者共通研修会の運営1回
5. 啓発活動として地域経済情報誌への記事掲載
6. 支部事業部主催研修会の開催、健康まつりへの参加、高校への進学出前講座の開催
7. 地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣
8. 地域作業療法推進事業、支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握、地域ケア会議への参加、介護予防事業へのOT派遣